

NEWS RELEASE

各位

2025 年 11 月 5 日

株式会社 MCA

MCA、「主要キャリアのネットワーク投資戦略と通信インフラ市場 2025 年版」の販売を開始

～2024 年度におけるキャリアの設備投資動向と 2028 年度までの通信インフラ機器市場を予測～

移動体通信・IT 分野専門の調査会社である株式会社 MCA（所在地：東京都東京都新宿区西新宿 1-25-1、代表者：天野浩徳、TEL：03-5325-0222）が 2025 年 11 月 5 日に、調査レポート「主要キャリアのネットワーク投資戦略と通信インフラ市場 2025 年版～2024 年度におけるキャリアの設備投資動向と 2028 年度までの通信インフラ機器市場を予測～」（価格：税抜 200,000 円）を発刊しました。

「主要キャリアのネットワーク投資戦略と通信インフラ市場 2025 年版」

https://www.mca.co.jp/ifr/NewsRelease/infra_2025NL.pdf

■調査概要

主要キャリアグループ各社の決算をみると、2024 年度に NTT グループは 9 兆 2,318 億円、KDDI グループが 6 兆 939 億円、ソフトバンクグループは 6 兆 6,344 億円の売上高を記録し、その他のキャリアを含めると、国内通信市場は 22 兆 8,394 億円になっている。2025 年度も約 8,338 億円増の 23 兆 6,732 億円が見込まれる。

また、主要キャリアグループ各社における 2024 年度の設備投資額は前年度比 5.2%減となる 2 兆 3,161 億円になった。内訳は NTT グループが 1 兆 1,143 億円、KDDI グループは 6,789 億円、ソフトバンクグループが 3,218 億円、楽天グループは 930 億円、電力系キャリア合計が 1,081 億円となる。2025 年度は NTT や KDDI グループ、楽天モバイルの投資拡大により、前年度比 13.2%増の 2 兆 6,211 億円が計画されている。2026 年度以降は 2024 年度並みが想定され、2028 年度は 2 兆 2,759 億円と予測した。

一方、主要キャリアグループ各社の投資額に影響を受けるのがネットワーク機器市場である。国内キャリア投資が微減したこともあり、2024 年度は前年度比 12.2%減となる 3,881 億円を記録した。伝送装置と携帯電話基地局の減少が影響している。

今後の国内ネットワーク機器市場に関しては、伝送装置が 2025 年度も縮小するも以降は微増に転じ、ハイエンドルータは微増、スイッチが増加、携帯電話基地局は 2025 年度に拡大するも以降は微減、PON/MC が微減と推定した。それに伴い、2025 年度以降は 4,000 億円規模で推移して

IT Forecast Report

<http://www.mca.co.jp/ifr/top.htm>

いくものとみている。

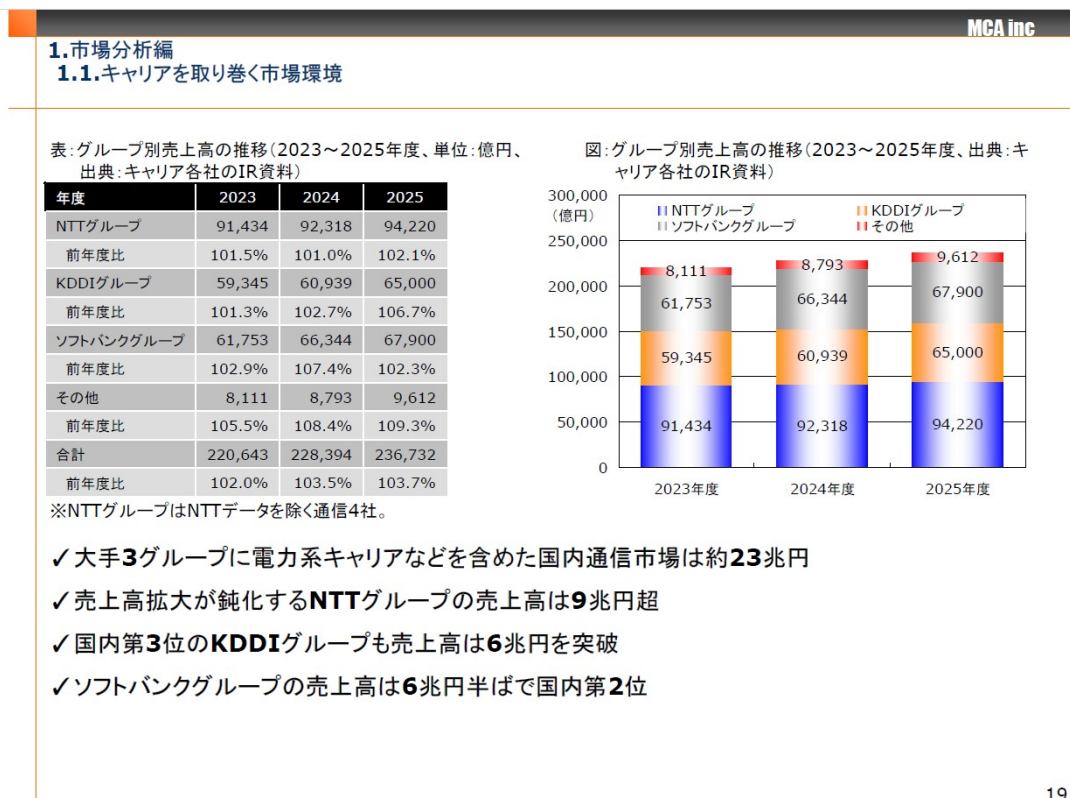
本レポートは主要キャリア各社におけるネットワーク関連の設備投資動向を分析することにより、ネットワーク機器の市場規模やキャリア内ベンダシェアなどを明らかにすることを目的とする。主要キャリア各社の設備投資額の視点を踏まえ、キャリア各社のネットワーク機器投資及び各ネットワーク機器市場の現状と今後を追う。なお、本レポートは主要キャリア各社の設備投資額やネットワーク機器投資、機器市場、ベンダ実績など数量的な相関関係が把握できるなどの特色を持つ。

■調査レポートのポイント

- ✓ 2023～2028 年度までの各社のネットワーク設備投資予測
- ✓ 2023～2028 年度までの各ネットワークインフラ機器市場予測
- ✓ NTT グループを巡る動きや APN/AON、Beyond 5G/6G、NTN、ローカル 5G の動向をピックアップ
- ✓ 2024 年度のネットワークインフラ機器別ベンダシェア

■調査結果抄録

1.1.キャリアを取り巻く市場環境



19

■調査対象

調査対象キャリア (18 社)

1. NTT 東日本
2. NTT 西日本
3. NTT ドコモ
4. NTT ドコモビジネス
5. KDDI (固定/モバイル)
6. UQ コミュニケーションズ
7. ソフトバンク (固定/移動通信)
8. Wireless City Planning
9. 楽天モバイル
10. 北海道総合通信網 (HOTnet)
11. トークネット (TOHKnet)
12. 中部テレコミュニケーション (ctc)
13. 北陸通信ネットワーク (HTNet)
14. オプテージ (OPTAGE)
15. エネコム
16. STNet
17. QTnet
18. OTNet

調査対象ネットワーク機器 (5 種類)

1. 伝送装置
2. IP 関連機器 (ハイエンドルータ)
3. IP 関連機器 (スイッチ)
4. BB 関連機器 (携帯電話基地局)
5. BB 関連機器 (PON/MC)

調査対象ベンダ (12 社)

1. シスコシステムズ
2. NEC
3. ノキアソリューションズ&ネットワークス
4. 1FINITY
5. エリクソン・ジャパン
6. サムスン電子ジャパン
7. 日本シエナコミュニケーションズ
8. APRESIA Systems
9. 三菱電機

- 10. 沖電気工業
- 11. 住友電気工業
- 12. ジュニパーネットワークス

■調査レポートの主な目次

※詳細な目次は Web サイトの「レポート目次」をご参照ください。

[URL](#)

目次

調査の目的・背景

■調査概要

■調査レポートのポイント

■調査対象

1.市場分析編

- 1.1.キャリアを取り巻く市場環境
- 1.2.NTT グループを巡る動き
- 1.3.APN/AON の動向
- 1.4.Beyond 5G/6G の動向
- 1.5.NTN の動向
- 1.6.ローカル 5G (L5G) の動向
- 1.7.キャリア各社の設備投資の動向
- 1.8.ネットワーク機器市場の動向
- 1.9.ネットワーク機器別の投資額推移

2.キャリア編

2.キャリア編～NTT 東日本（旧東日本電信電話）～

- 2.1.1.事業戦略
- 2.1.2.業績推移（セグメント別売上高、営業利益など）
- 2.1.3.設備投資とネットワーク投資の動向
- 2.1.4.ネットワーク関連情報
- 2.1.5.ネットワーク機器への投資額推移と予測
- 2.1.6.ネットワーク機器投資におけるベンダシェア

※NTT 西日本（旧西日本電信電話）や NTT ドコモ、NTT ドコモビジネス（旧 NTT コミュニケーションズ）、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイルも同様。

2.キャリア編～北海道総合通信網（HOTnet）～

- 2.10.1.事業戦略

2.10.2.業績推移

2.10.3.設備投資とネットワーク投資の動向

2.10.4.ネットワーク関連情報

2.10.5.ネットワーク機器への投資額推移と予測

※トークネット（TOHKnet）や中部テレコミュニケーション（ctc）、北陸通信ネットワーク（HTNet）、エネコム、STNet、QTnet、OTNet も同様。

2.キャリア編～オプテージ（OPTAGE）～

2.14.1.事業戦略

2.14.2.業績推移

2.14.3.設備投資とネットワーク投資の動向

2.14.4.ネットワーク関連情報

2.14.5.ネットワーク機器への投資額推移と予測

2.14.6.ネットワーク機器投資におけるベンダシェア

3.通信機器編

3.通信機器編～伝送装置～

3.1.1.市場概況

3.1.2.国内市場規模推移と予測

3.1.3.ベンダシェア

3.1.4.主要ベンダの動向

※IP 関連機器（ハイエンドルータとスイッチ）、BB 関連機器（携帯電話基地局と PON/MC）も同様。

情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

■カスタムプロジェクトのフロー

■カスタムプロジェクトのドメイン

■過去のカスタムプロジェクト実績（一例）

■クライアント属性

■調査レポート詳細

発行日：2025 年 11 月 5 日

判型：PDF ファイル（A4 版 248 頁）

発行・販売：株式会社 MCA

頒価：200,000 円（税抜）

調査期間：2024 年 9 月～2025 年 7 月

販売方法：pdf ファイルのダウンロード

申込方法：オンライン注文

■株式会社 MCA（MCA Inc.）の会社概要

設立時期：1993 年 12 月 1 日

代表者：代表取締役 天野浩徳

資本金：1,000 万円

所在地：〒163-0649 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 49F

事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業

- ・カスタムプロジェクト（委託調査）業務
- ・IT Forecast Report（モバイル/IT 調査レポート）の企画/制作/販売業務

■本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社 MCA（MCA Inc.、<http://www.mca.co.jp/>）

担当：大門（だいもん）

E-Mail：info@mca.co.jp

TEL：03-5325-0222